

# 北斗台地区のグリーンスローモビリティ実証運行の結果について

## 1 はじめに

グリーンスローモビリティは、時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスであり、バスなどの公共交通機関ではカバーしきれない停留所から自宅周辺までの最後の区間の移動を可能にする移動手段として全国で実証実験や導入が進んでいる。

細川町の北斗台団地では、移動手段のない住民のために地元でボランティアカーの運営に取り組んでおり、持続的な移動手段の確保のため地元主体でグリーンスローモビリティの活用検討が進められている。

この度、運転者講習の実施や実証実験における運行計画の策定などの準備が整ったため、グリーンスローモビリティの導入により地域課題の解決につながるかの検証を実施したのでその結果を報告する。

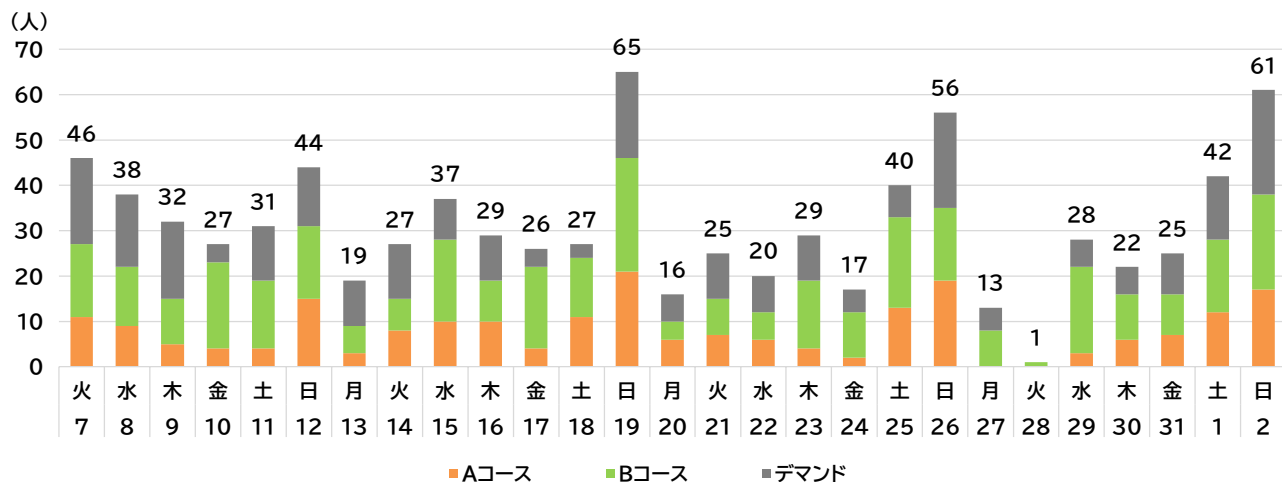
## 2 運行概要

|        |                                                                  |
|--------|------------------------------------------------------------------|
| ①目的    | 北斗台地区における日常生活の移動手段の確保                                            |
| ②運行期間  | 令和6年5月7日（火）～6月2日（日） 午前10時30分～午後4時25分 （27日間実施）                    |
| ③対象    | 北斗台地区住民及びその親族等                                                   |
| ④運行形態  | 定時定路線とデマンド運行の併用                                                  |
| ⑤運行区域  | 北斗台地区                                                            |
| ⑥運賃    | 無料                                                               |
| ⑦移動ルール | ・定時定路線は2ルートで運行し、フリー乗降とする<br>・デマンド運行は、行きは自宅から目的地、帰りは指定場所から自宅に運行する |
| ⑧予約方法  | 電話予約 事前予約：平日 午前10時～午後4時 当日予約：利用希望時刻30分前                          |
| ⑨運行車両  | グリーンスローモビリティ1台 車種：TAJIMA NAO-6J（利用者定員：6名）                        |
| ⑩実施主体  | 岡崎市                                                              |
| ⑪運行主体  | 運転者講習を受講した北斗台地区住民                                                |

## 3 運行実績

### ① 利用人数

延べ利用人数は、Aコースで217人、Bコースで348人、デマンドは278人となり、合計で843人の利用があった。 全体では1日あたりの利用者数が31.2人で平日より休日の利用が多く、休日は1日あたり45.8人の利用実績となった。



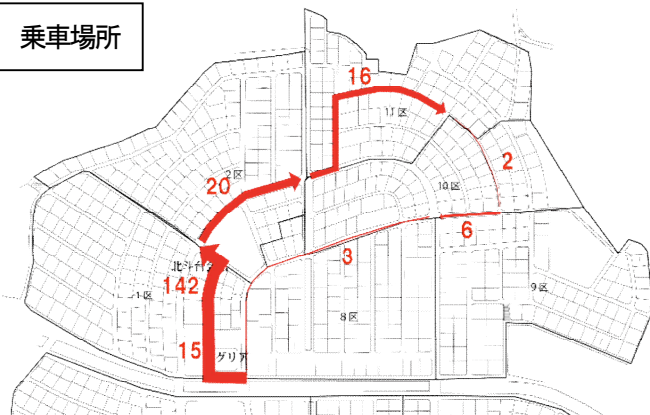
| 時刻  | 00分発     | 15分発            | 30分発     | 45分発 |
|-----|----------|-----------------|----------|------|
| 10時 | —        | —               | 定時（Bコース） | 予約   |
| 11時 | 定時（Aコース） | 予約              | 定時（Bコース） | 予約   |
| 12時 | 定時（Aコース） | 12:10～13:10 昼休み |          |      |
| 13時 | —        | 予約              | 定時（Bコース） | 予約   |
| 14時 | 定時（Aコース） | 予約              | 定時（Bコース） | 予約   |
| 15時 | 定時（Aコース） | 予約              | 定時（Bコース） | 予約   |
| 16時 | 定時（Aコース） | 予約              | 16:25 終了 |      |

延べ利用人数は、Aコースで217人、Bコースで348人、デマンドは278人となり、合計で843人の利用があった。全体では1日あたりの利用者数が31.2人で、平日より休日の利用が多く、休日は1日あたり45.8人の利用実績となった。

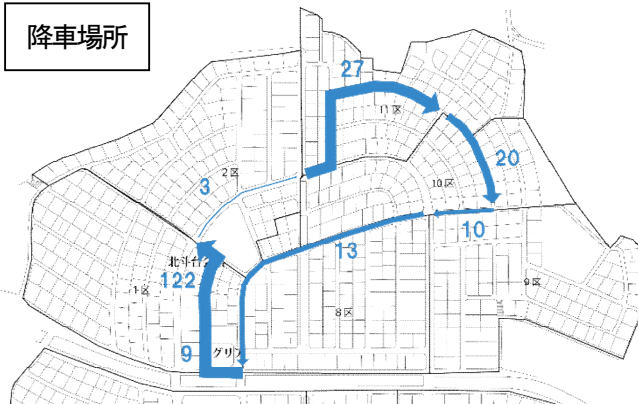
## ② 乗降場所

### 【Aコース】

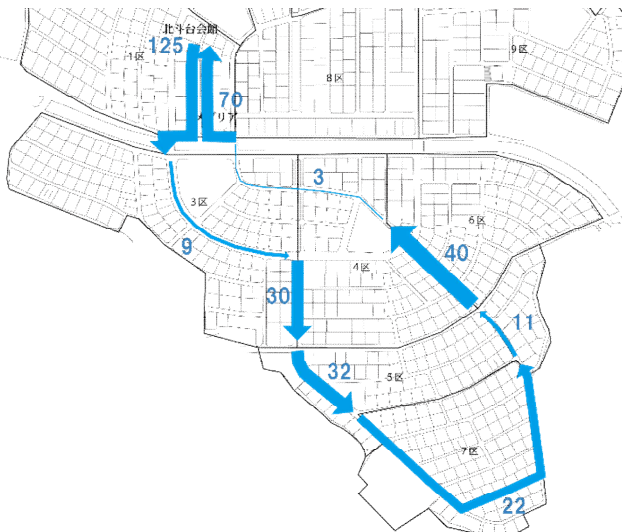
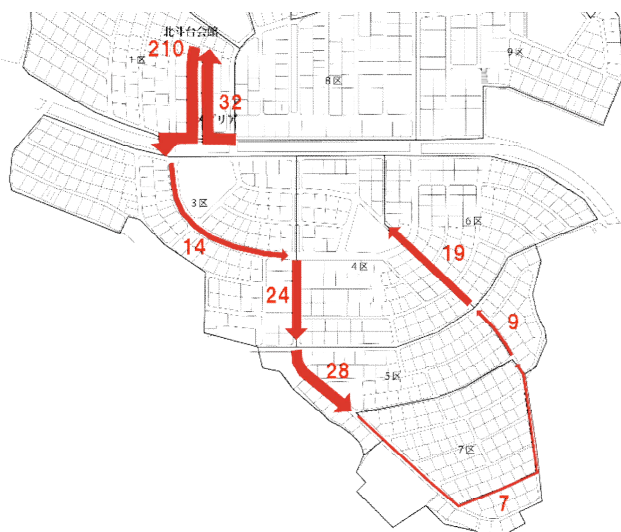
#### 乗車場所



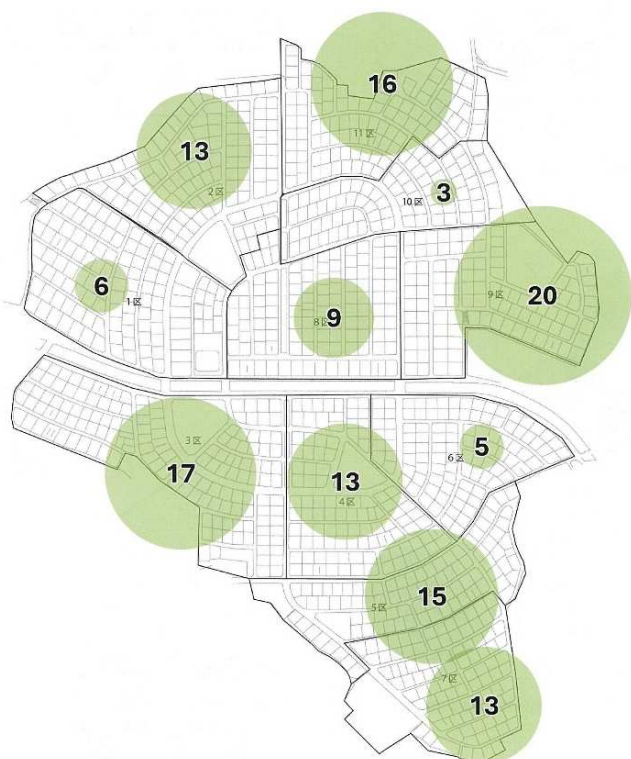
#### 降車場所



### 【Bコース】



### 【デマンド乗降場所】



乗降場所は、Aコース、Bコースともに中心部に位置する「北斗台会館」や「メグリア」が多く、町内活動や買い物等で利用された。また、北斗台は坂道が多いことから、上り坂はグリーンスローモビリティを使い、下り坂は健康のために歩くといった地域の特性に合った利用も見受けられた。

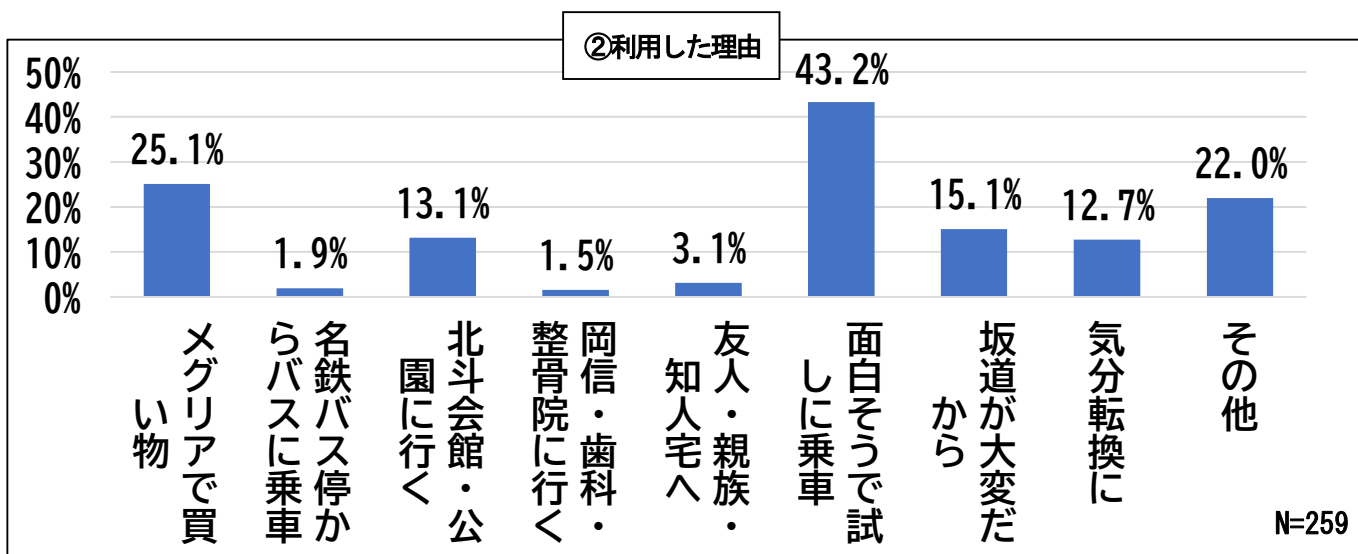
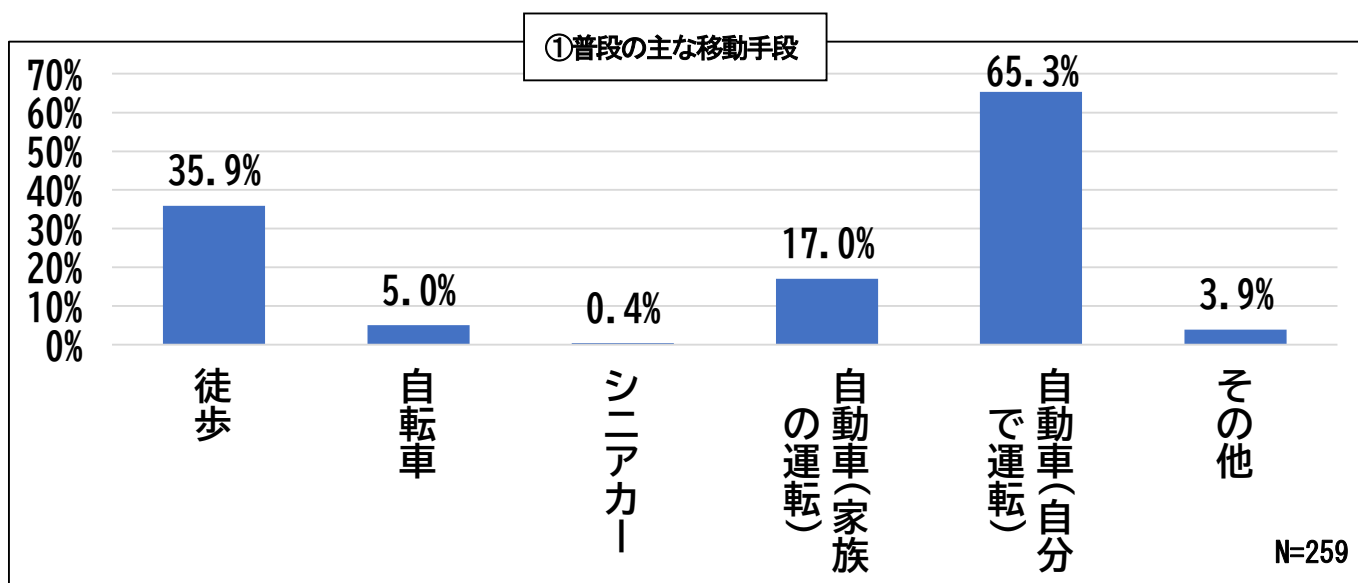
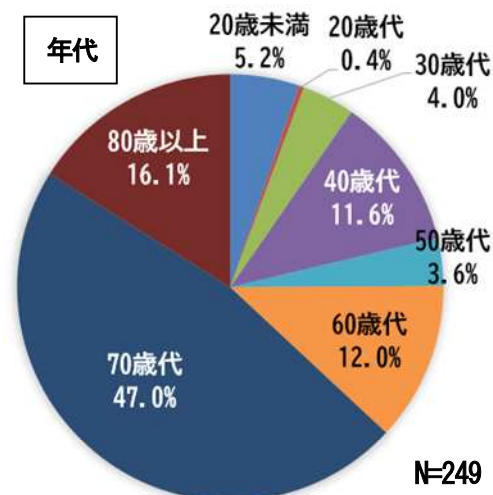
デマンドについては、「北斗台会館」での乗降利用のほか、定時路線の沿線外で「北斗台会館」や「メグリア」の位置する中心地区から上り坂で移動する地区間での乗降利用が多く見受けられた。

#### 4 利用者アンケート

運行期間中、グリーンスローモビリティの利用者にアンケートを実施した。回答者の年代は右記のとおり。

アンケートの結果、①普段の主な移動手段については、「自動車（自分で運転）」が多く、次いで「徒歩」となった。また、②利用した理由については、実証運行ということもあり、「面白そうで試しに乗車」が最も多く、次に「メグリアで買い物」、「坂道が大変だから」であった。

バスやタクシーといったほかの交通手段への乗り継ぎのための利用はほとんどなく、地域の中での日常利用でグリーンスローモビリティが利用されていることが分かった。



#### 5 今後の対応

- ・利用状況、利用者意見等を踏まえて効果検証を行い、本格運行への移行について検討する。
- ・本格運行へ移行する際は、車両調達及び運行計画の作成を行い、北斗台地区において将来に渡り持続可能な日常生活における移動手段の確保を目指す。
- ・バスやタクシー等、他の公共交通との役割分担を交通事業者も交えて検討していく。